

敬愛する 国際ロータリー第2660地区の皆様へ

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



敬愛する第2660地区のロータリアンの皆様方、公式訪問を通じ、皆様とお会いできました事、誠に光栄でありました。皆様とお会いし、ロータリーの素晴らしさをあらためて実感することが出来ました。心より感謝申し上げます。

皆様方の温かい笑顔は今でも忘れられずにおります。私にとりまして、一生の良き思い出として、いつまでも心に残ることでありましょう。

この様な大きなお話をいただいた時、とんでもないお話であると思いました。私がガバナーの大役をお受けしたのは、スリランカGSEチームリーダーとして素晴らしい、ロータリーでなくては出来ない体験をさせていただきましたことであり、その決心をした時期は、東北の岩沼RCに震災の支援に行っていた時でありました。私で出来ることがあるなら、私でよければ、という思いでお受けいたしました。

岩沼RCの方々から、私がガバナーノミネーになったことを、クラブ週報に載せていただき、祝福していただいたこと、スリランカのロータリ

アンから、お祝いのメールをいただいたこと、まさにロータリーの醍醐味でありました。

そして、いよいよ、公式訪問、嵐のように駆け抜けた期間でありましたが、皆様方のロータリーに対する熱き思いを感じさせていただき、大いに元気をいただきました。ガバナーとして、皆様おひとりおひとりにお会いし感じたことは、それぞれがそれぞれの方法でロータリーライフを楽しんでおられることでもあります。それゆえに、地区の役割は、皆様にご苦勞をさせていただく事なく、皆様に「思い」を遂げていただく事であることを、心に刻んだわけであります。

まさに、ロータリアンの皆様と、心を一つにすること、「ここをひとつにする」、「思いは同じ」、「願いは世界の平和」、「ここをひとつにする」、何度でも言います、「ここをひとつにする」ことが大事ではないかと感じております。まだ期の途中ではありますが、皆様にお知らせいたしたく、ご報告いたします。

皆様と「ここはひとつ」であります。